

第1号

2024年11月発行

生活支援体制整備事業

明治地区生活支援体制整備推進協議体

明治ささえあい たより



写真:国分団地で行われた手作り縁日の様子
詳細は裏面にて紹介しています。

ささえあう地域づくりを考える

本紙について

誰もが住み慣れた場所で自分らしく暮らしていくための地域づくりについて明治市民センター地区で「明治地区生活支援体制整備推進協議体」という名前で、話し合いが行われています。今後は、このたよりを通して、地域に既にある住民主体の活動などをお届けしていきます。

◆知っていますか?高齢化社会の本当の問題

私たちがこれから迎えるのは、世界初の超高齢化社会です。問題は高齢者が増えていく事ではなく、「高齢者を支える人口が減少し続けていること」です。この人口減少に伴い「介護サービスの担い手不足」と「社会保障の財源不足」が本当の問題となっています。まずは、私たち一人一人がこの問題を受け止め、知恵を出し合って地域の縁（互いにささえあう気持ち）づくりに向けて行動していく必要があります。



◆明治地区生活支援体制整備推進協議体とは?

現在、「地域の縁づくり」を推進する「生活支援体制整備事業」という取り組みが全国各地で進められており、明治市民センター地区では「明治地区生活支援体制整備推進協議体」として話し合いの場を設定しています。活動内容については、本紙裏面の他、今後発行する「明治ささえあいたより」にてお伝えしていきます。

裏面もご覧ください



◆明治地区生活支援体制整備推進協議体で話し合われていること

●目指す地域像についての話し合い

明治地区は「住民同士の関係性を構築し、安心安全な地域を目指す」

●住民同士の関係性を構築するため、まずは「地域内であいさつを推進すること」から始め、人と人との関わるきっかけ作りを応援すること。

→「あいさつ運動」を地域の住民へ周知・啓発すること。

●地域の集いの場について情報交換をする。

◆「明治地区生活支援体制整備推進協議体」の話し合いのイメージ

①社会参加につながる活動や、生活を支える取り組みを探してみんなで情報共有しよう！

②地域にある問題を知ろう！
色々な人に教えて貰おう！



③問題に対して何か提案や、取り組めることを考えよう！

④アイデアを実行しよう！
協力者に働きかけよう！

⑤活動が生まれる

明治のすてきな集いの場

国分団地

●手作り縁日を開催

この取り組みは、8月17日(土)自治会役員が

- ①地域で顔の見える関係性を作っていくこと、
- ②子どもから高齢者までの多世代が交流できる居場所を作っていくことの2つを目的として、開催されました。

当日は30名以上の参加者が訪れ、風船釣りやお菓子釣り、かき氷など、4つのブースを回って皆さん楽しんでいらっしゃいました。



※ 本紙に対してご興味ある方や、素敵な地域活動がありましたら、是非情報をお寄せください。お問い合わせは、下記の問合先まで。

問合先 社会福祉法人稲沢市社会福祉協議会 地域福祉グループ 担当:山田

稲沢市稲府町1番地 稲沢市役所東庁舎1階 TEL:0587-23-6713